

# 国語科 小学校5年

単元名 「ベンチの一日」  
大阪書籍「国語五下」

## 単元の流れ（全6時間）

### 【第1次】＜学習の見通しと意欲を持つ＞

- ◇第1時
  - ・教材文や挿絵を見て学習の見通しを持つ。
  - ・挿絵に出てくるものになり切って、つぶやきを書く。
  - ・1枚の挿絵から分かることを読み取り、交流する。

「活用」の力育成のために  
①児童同士の交流時間を十分に確保する。

### 【第2次】＜想像した物語を書く＞

- ◇第2時 4枚の挿絵ごとに、大まかなあらすじを考えて、構成表（ワークシート）に書く。【構想】

＜ あらすじ＝物語の柱 ＞  
○時間とまわりの様子 ○登場人物とその様子  
○そのときのできごと ○ベンチが思ったこと

- ◇第3時 構成表に様子や気持ちを書き加えて、物語をくわしくする。【構成】（本時）
- ◇第4時 構成表や付箋のメモをもとに物語を書く。【記述】

「活用」の力育成のために  
③文章表現や構成の工夫など掲示物で振り返りができるようにする。

- ◇第5時 技法チェックの観点に注意しながら読み返し、書き直したり付け加えたりする。【推敲】

「活用」の力育成のために  
②「技法チェック」を用い、推敲する力を付けていく。

### 【第3次】＜作品を交流する＞

- ◇第6時 合評会で、友達の表現の良さを見付ける。【交流】

「活用」の力育成のために  
①児童同士の交流時間を十分に確保する。

### 単元目標

- 想像したことを構成や表現の効果を考えて物語を書く。

### 単元構成の意図

・第4学年の想像力コラム「山中の家のできごと」では、1枚の特定の場面の中に自分を置き、物語風を書くことを学習し、場面を説明することや五感を使った描写を使うことを通して書く力を身に付けてきている。

そこで、本単元では、児童の身の回りによくある場面から、4枚の絵の中にならぶ公園のベンチや木になりきり、登場人物や出来事について語る学習活動へと発展している。ベンチや木を擬人化させることで、見える人や物、さらには見えそうな色、聞こえそうな音や会話などを想像させ、児童の感覚を十分に生かすことができるだろう。

・また、本単元を通して、「書くこと」の基本である①課題設定・取材②構成③記述④推敲⑤交流という学習過程を身に付けさせていきたい。特に、推敲・交流の場面を細かに設定し、様々な表現方法や物のとらえ方があることを学び合えるような児童同士のつながりも大切にしていきたいと考えている。

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①児童同士の交流時間を十分に確保する。
- ②「技法チェック」を用い、自分や友達の文章表現の工夫に気付いたりそれをもとに推敲したりする力を付けていく。
- ③これまで学習してきた文章表現や構成の工夫などを想起させるために、掲示物で振り返りができるようにする。

本時の流れへ

評価問題

HOME

授業展開例へ